

報道関係者各位

2025年12月15日(月)

Why me?で巡り合う G's 独自の採用マッチングイベント 「G's CROSS POINT 2025 Autumn」開催レポート



BASE for GEEK G's

G's発スタートアップとG's卒業生が
「Why me?」でつながる採用マッチングイベント

G's CROSS POINT 開催レポート

G'sコミュニティだからこそ成立する
文化共有型の採用エコシステムとは?



G's コミュニティだからこそ成立する 文化共有型の採用エコシステム

IT 関連及びデジタルコンテンツの人材養成スクール・大学・大学院を展開するデジタルハリウッド株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO:春名 啓紀、学長:杉山 知之)が運営するエンジニアと起業の学校『G's』(ジーズ)は、2025年11月28日・29日の2日間、G's 発スタートアップと G's 卒業生が直接つながる採用マッチングイベント「G's CROSS POINT 2025 Autumn」を開催しました。

■ G's CROSS POINT とは

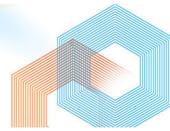
—G's コミュニティだからこそ成立する文化共有型の採用エコシステム

G's は開校以来、2,200 名以上の卒業生を輩出し、スタートアップ創業者、エンジニア、デザイナー、PdMなど多様な挑戦者が集うコミュニティを形成してきました。

G's CROSS POINT は、そのコミュニティの中で培われてきた「Why me? (なぜ自分がやるのか)」に根差したプロダクトづくり」「自ら挑戦を選び取る姿勢」という文化を共有する者同士が出会うことで、単なる採用ではなく“共に事業を前進させる仲間探し”を実現する採用マッチングイベントです。

他の教育機関にはない、「価値観起点の採用マッチング」を提供する場として設計しています。





G'sメンバー（卒業生限定） 求職者

エンジニア転職希望者

- ・業界未経験から転職したい
- ・現在エンジニアで違う企業へ転職したい

ビジネス転職希望者

- ・将来起業を考えており、スタートアップで経験を積みたい
- ・スキルを生かして転職したい

副業希望者

- ・フリーランスや副業で参画したい
- ・思いに共感できる事業・プロジェクトに携わりたい

採用・仲間を探したい スタートアップ

G's発スタートアップ

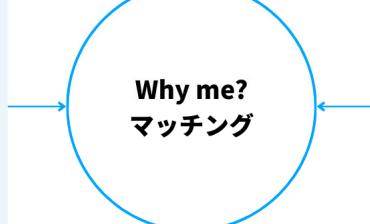
- ・ジーズ卒のエンジニアを採用したい
- ・立ち上げ仲間を探したい

その他G's関連企業

- ・エンジニアリングのわかるビジネスサイドを募集したい
- ・エントリーレベルでもG's生なら採用したい

新規事業立ち上げ中

- ・まずはプロジェクト単位で参加してくれる人を探したい



【過去8回開催の実績】

過去8回の開催では、累計102社のG's発スタートアップ・メンター企業が採用側として参加しています。さらに、延べ199名の参加者のうち114名が企業との面談へ進み、68名が採用決定につながっています。

G's発スタートアップが事業成長を進める中で、卒業生を迎えるだけの採用体制を持つ企業が着実に増えてきたことを示す一面もあります。

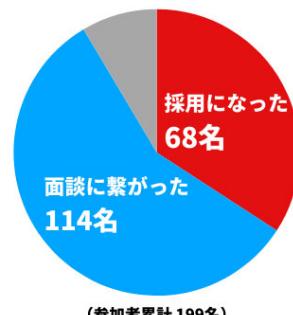
G's CROSS POINT（過去8回実績）

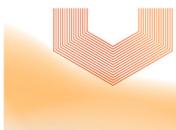
採用側の参加企業数

(G's発スタートアップ/メンター企業)

累計
102社

G's CROSS POINTでの採用実績





■「G's CROSS POINT 2025 Autumn」開催概要

【日程】

DAY1: 2025/11/28(金)、DAY2: 2025/11/29(土)

【会場】

G's 東京校舎・オンライン併用

【参加企業(G's 発スタートアップ・メンター企業)】

14 社

株式会社 Every

株式会社オルターブース

株式会社 Kaboot

Givin' Back 株式会社

株式会社 Collelis

SEREAL 株式会社

スマイルホーム株式会社

株式会社テックピット

株式会社 TechFirst Leaders

株式会社 DonDot

ホライズンテクノロジー株式会社

株式会社 Miracle

株式会社 U-ZERO

株式会社 Reelu

■開催の様子

① 企業 LT(事業の Why me? を語る 10 分)

参加企業は、事前にプロフィールシートを作成。募集職種やポジション、どんな人と働きたいのかなどを事前情報として求職者に共有。そして迎えた当日の企業 LT(ライトニングトーク)では、採用側の計 14 社が事業内容の紹介にとどまらず、プロフィールシートだけでは伝わりきらない企業の想いや募集背景を、「Why me?」という視点から語っていただきました。

リアル・オンラインを問わず、参加者が真剣に耳を傾け、実際の開発体制や技術に関するここと、顧客との接点の持ち方など、より踏み込んだ質問も多数寄せられました。

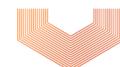
求職者は、自身がその企業でどのように価値を発揮できるか、未来の働き方を具体的にイメージしながら LT を聞く姿が印象的でした。

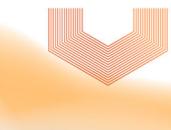
② 1on1 面談パート

企業 LT 終了後、その場で求職者アンケートを実施し、話してみたい企業との 1on1 面談を即時にマッチングしました。

1on1 は 15 分を 1 セットとし、最大 6 社と対話できる形式。そのため、時間ぎりぎりまで対話が続く場面が多く見られました。また、卒業制作プロダクトの裏側や開発プロセスについての話が挙がる場面もあり、G's ならではの話題で盛り上がっていました。

さらに、“自分は応募対象ではないけれど、この人なら興味がありそう”と他の卒業生を紹介する姿も見られ、G's の特徴である横のつながりによる広がりが起きていました。





【参加者のコメント(抜粋)】

<採用側として参加した企業の声>

「参加者の皆さんのが、事前にサービスや会社に興味を持ったうえで面談に来てくれたので、1on1は15分とは思えないほど濃い対話ができました。お互いに納得感のある形で時間を終えられたと感じています。」

「関心を持って面談に来ていただき、縁を紡ぐきっかけになりました。他のG's卒業生のLTがとても刺激的で、登壇企業としても学びの多い時間でした。」

<求職者として参加した方の声>

「様々な社会課題に挑む企業を知ることができ、自分が進みたい方向性を考える良い機会になりました。」

「1on1形式のおかげで、企業の空気感や働く人の雰囲気まで感じ取れました。」

「校舎の隣で作業していた方が、実は登壇企業の代表だと知って驚きました。
コミュニティのつながりを実感できてうれしかったです。」

■G'sだからこそ出来る、卒業生の出口支援の仕組み

G'sは“自分自身のオリジナルプロダクトを創って卒業する”だけでなく、その先にある一人ひとりの目標を叶えるための「出口支援」に力を入れています。

特に、一般的な就職斡旋とは異なり、G'sが重視しているのは「共に挑戦する仲間と出会う」という価値観です。卒業後のキャリア形成をコミュニティ全体で支える仕組みとして、また、G'sから誕生したスタートアップが事業成長を進めるうえでのチームビルディングの場として、本イベント「G's CROSS POINT」を継続的に開催しています。

今後も、挑戦者同士が“Why me?”を交点として巡り合い、互いの挑戦を後押しし合える採用エコシステムとしてのプラットフォームを提供していきます。

■G's(ジーズ)について

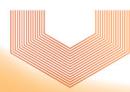
(旧 G's ACADEMY)

<https://g-s.dev/>

テクノロジーを乗りこなし、自らの手で創る。
自らの行動で人を動かし、セカイを変える。

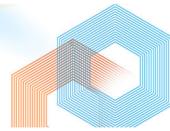
そんな、セカイをあきらめないGEEKたちが「学び、つながり、動き出せる場所」を自らの手でつくり続ける、社会人のための教育機関です。





Press Release

Digital Hollywood



g

<https://g-s.dev/>



卒業生の約 80% が起業またはベンチャー就職を志望し、これまでに 117 社のスタートアップが誕生、資金調達総額は 161 億円を突破しています(2025 年 12 月現在)。

また、多くの起業志望者に対応すべく、最大 500 万円までの投資が可能なインキュベート機関「D ROCKETS」を設立。起業家とエンジニアの化学反応を引き起こし「セカイを変えるようなサービスを日本から生み出すこと」に貢献しています。

なお、運営母体であるデジタルハリウッド大学では、大学発ベンチャーの設立数が全国 15 位(令和 6 年度大学発ベンチャー調査(経済産業省)より)となっており、多数の起業家を輩出しています。

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室：川村

mail:press@dhw.co.jp

TEL: 03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト：<https://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース：<https://www.dhw.co.jp/pr/release>



digital
hollywood

Copyright 2025 Digital Hollywood Co., Ltd. All Rights Reserved.

